

旅好きのご夫婦が、子育ての場所に小城市を選んだ理由。

埼玉県と福井県ご出身の萬正さんご夫婦が、小城市を新たな生活の場所に選ばれたのは令和4年。小城市を選ばれた理由や、現在の生活についてお話を伺いました。

バイクで日本一周中に会われたお二人。小城市を新たな生活の場所に選ばれたきっかけは何でしたか？

子育てするなら、自分が生まれ育った福井のような、**田舎で開放的に子育てをしたい**と思いました。東京のふるさと回帰支援センターで熊本や福岡を検討していた際、佐賀の担当者から「**佐賀もよかよ**」と声をかけてもらったのがきっかけです。子育てを田舎でしなくて移住するんだから、ちょうどいいのは佐賀かなと思いました。

夫も、九州の真ん中あたりだね、旅もしやすそうだねということで佐賀は確定しました。当初多久市を検討していましたが、小城市の方とお話ししているうちに、小城市に決めました。

小城はようかんで有名ですね。私の出身の福井も水ようかんで有名なんです。その後もいろいろ小城市の方から親切にしてもらうことがあり、なんだか**ご縁**を感じました。



小城市に暮らしてみて、魅力を感じることはありますか？

バルーンがきれいに見えることです。家を購入するときも、バルーンが見えるところに住みたいと思って選びました。

九州の真ん中あたりの**小城市は旅の拠点にもちょうどいい**と思います。



今後、ご家族でどんな暮らしをしていきたいですか？

子育てを田舎でしなくて佐賀に移住してきましたので、**子どもとのびのび過ごせたら**と思います。



撮影場所：小城市児童センター「ゆうゆう」

3つの制度

空き家を探すなら 空き家バンク



3 芦刈町限定 住宅取得奨励金

【対象者】小城市内に自分名義の家を持っていない人で、芦刈町に家を買う人・建てる人

基本
30
万円

子育て加算	1人10万円
三世代同居加算	10万円
市内業者施工加算	10万円
居住誘導区域加算	10万円
空き家付き土地購入	30万円

最大
120
万円

【主な要件】

- ①建物の取得費用が300万円以上(改修費を除く)であること
- ②新築は50歳未満、中古は65歳未満であること
- ③新築の場合は請負契約から、中古の場合は売買契約から1年以内で登記前に申請すること
- ④10年以上その家に住むこと

契約後、速やかに申請してください。

詳細は
こちら



「佐賀もよかよ」から始まった、

小城暮らし。



お子さんと一緒にどこにお出かけされますか？

最近は暑すぎて公園も行けないので佐世保までプールに行きました。その時も1時間半くらいで気軽に行けました。あとは市内の**アイルのプール**も行きましたよ。大人も手ごろな価格で入るのでいいですね。

あと市内だと、**ムツゴロウのトイレ**があるところ（海遊ふれあいパーク）も行きました。そこに行く結構長い時間楽しんでいますよ。



大切な人に
教えたい！

「小城市で暮らす」という選択 小城市での暮らしをサポートする

1 地方創生移住支援金

東京圏から小城市に移住し、起業や就職などについての要件を満たす人への支援。

【支援金の額】

● 単身 60万円 ● 世帯 100万円

※世帯で移住の場合、移住元・移住先で同じ世帯の人がいることが条件です。

移住する世帯員のうち、18歳未満の人がいる場合は、一人につき100万円を加算(予算の範囲内)

詳細は
こちら



2 未来につなぐ さが移住支援金

世帯の場合は、18歳未満の子どもを帯同し、県外から小城市に移住し、「地域の担い手」要件を満たす人への支援。単身の場合は、59歳以下かつ伝統工芸・スポーツへの就業のみ。

【支援金の額】

● 単身 60万円 ● 世帯 100万円

※令和8年度で
事業終了予定。

詳細は
こちら



【受付期限】 令和9年1月29日(金)